

あなたと赤ちゃんのために お薬とどう向き合うか

公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター先端生命医科学研究所では、先端医学に関する知見を市民の方々と共有することの重要性を深く認識しています。特に母子の健康に関する様々な問題について共に考える機会を持たせて頂くことは将来の日本の方向を決定付ける重要な意味を持っています。そのような認識のもと、2008年より神戸、東京にて市民公開講座「赤ちゃんから社会へのメッセージ」を開催して参りました。

現代において、女性の社会進出が進み、出産年齢も上昇する中で、健康面での課題を抱える女性も少なくありません。このような状況において、母子の健康をどのように守るかは、我が国でも最も重要な課題の一つです。医学の進歩に伴い、薬の果たす役割はますます重要となり、母子の健康に対する影響への社会的関心も高まっています。持病があり、薬を手放せない場合にどのように安全に服薬するかについて、女性が一人で悩まないよう、講師の先生方による豊富な経験に基づいた講演は、医療関係者や一般の方々にとって非常に有益なものとなるでしょう。母子にとって安全な薬物治療の重要性や、周産期におけるメンタルヘルスの大切さについて社会の理解を深め、皆様とともに考える機会としたいと願っています。未来を担う母子の健康は、人類の生存において永遠に重要なテーマの一つであり続けます。

公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター先端生命医科学研究所長・
東京科学大学 (旧東京医科歯科大学) 名誉教授 水谷 修紀

2025年

4月13日(日)

14:00~16:15

会場とTeamsウェビナーの
ハイブリッド開催

会場：早稲田大学 国際会議場 第三会議室

※住所、アクセス等は裏面をご覧ください。

参加費
無料

Program

14:00~14:05

開会のご挨拶

14:05~15:05

講演1

15:05~15:45

講演2

15:45~16:15

司会：宮坂 尚幸 先生 (東京科学大学 生殖機能協関学分野 教授)

佐藤 憲子 先生 (日本女子大学 食科学部 栄養学科 基礎栄養学・ゲノム医科学研究室 教授)

水谷 修紀 先生 (先端生命医科学研究所所長・東京科学大学名誉教授)

妊娠・授乳中にお薬は使えますか？

村島 温子 先生 (一般社団法人 妊娠と薬情報研究会 理事長)

周産期メンタルヘルスの現状と課題

竹内 崇 先生 (東京科学大学 心身医療科 科長)

質疑応答

お申込み期間

2025年

2月11日(火)

4月10日(木)

お申込み
[事前登録制]

<https://events.teams.microsoft.com/event/4fd8dad7-8569-4202-89aa-e61a59590fdf@78ddabb2-e952-468b-b000-e409476214b2> よりお申込み下さい。

会場でのご参加は定員80名となります。(定員に達し次第締め切らせていただきます。)



一部オンデマンドでも視聴できます。[4月23日(水)~] 上記サイトにアクセスしてください。

講師プロフィール

むらしま あつこ
村島 温子 一般社団法人 妊娠と薬情報研究会 理事長

1982年、筑波大学医学専門学群を卒業し、虎の門病院での3年間の内科研修中に受け持った膠原病患者さんに衝撃を受けて1985年、順天堂大学膠原病内科学講座に入局。講師時代、膠原病患者さんの妊娠をテーマにしていたことがきっかけで、2002年、国立成育医療研究センター開設に伴い母性内科医長となる。2005年、母性内科を診療するうえで重要な鍵となる妊娠と薬情報センター立ち上げを主導し、その後センター長兼任。2010年に母性診療部長、2013年より主任副周産期・母性診療センター長。2024年4月から一般社団法人 妊娠と薬情報研究会の理事長となり、これまでの研究を継続するとともに、適正な妊娠・授乳中の薬物治療に関する啓発に努めている。

主な 所属学会 など

日本母性内科学会（理事長）
日本先天異常学会（理事）
日本リウマチ財団（理事）
日本妊娠高血圧学会（監事）
日本リウマチ学会（評議員・専門医）
日本内科学会（専門医）
日本臨床免疫学会（代議員）



主な著書

膠原病とリウマチの治し方（講談社）
薬物治療コンサルテーション/妊娠と授乳（南山堂）
向精神薬と妊娠・授乳（南山堂）
アラフォー安産（経済界）



たけうち たかし
竹内 崇 東京科学大学 心身医療科 科長

1994年3月 東京医科歯科大学医学部医学科卒業
1994年6月 東京都立広尾病院 臨床研修医
1996年4月 東京都立広尾病院 神経科
1998年4月 埼玉県立精神医療センター
2001年4月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野 医員
2002年4月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野 助教
2014年4月 東京医科歯科大学医学部附属病院 精神科 講師
2018年4月 東京医科歯科大学医学部附属病院 心身医療科 科長
2020年4月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野
リエゾン精神医学・精神腫瘍学担当 准教授
2021年3月 東京医科歯科大学医学部附属病院
メンタルヘルス・リエゾンセンター センター長
2021年10月 東京医科歯科大学医学部附属病院が東京医科歯科大学病院に名称変更
2024年10月 東京医科歯科大学が東京科学大学に名称変更

主な 所属学会 など

日本精神神経学会（専門医、指導医）
日本総合病院精神医学会（専門医、指導医、理事）
日本臨床精神神経薬理学会（専門医）
日本周産期メンタルヘルス学会（理事）
日本サイコネフロロジー学会（理事）
日本サイコオンコロジー学会（登録精神腫瘍医 理事）
日本女性心身医学会（理事）



会場のご案内

早稲田大学 国際会議場 第三会議室

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1丁目6-1 TEL: 03-5286-1755

会場案内図は
コチラ



公益
財団法人

パブリックヘルスリサーチセンター
Public Health Research Foundation

当法人はストレスが心身の健康に及ぼす影響等を研究し、研究助成や臨床研究支援などを通して、疾病予防や健康増進など国民保健の維持向上を目指す公益法人です。